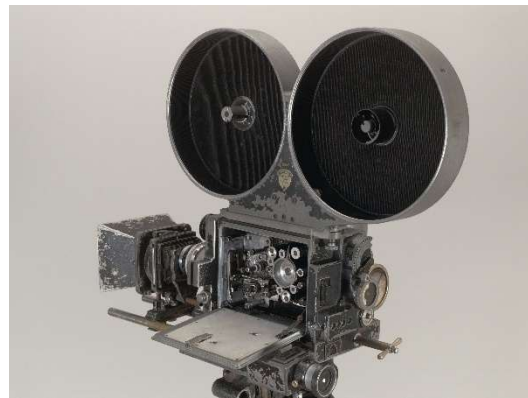


IMAX 社製の巨大な 70mm フィルム映写機も！ 未搭載だった撮影機や映写機の主要コレクションなど 44 点を追加公開



左：オムニマックス映写機
右：ミッCHEル NC 型撮影機

「映画遺産—国立映画アーカイブ映画資料ポータル—」更新のお知らせ

このたび国立映画アーカイブが国立アートリサーチセンターの協力のもと、国立情報学研究所と共同で開発したウェブサイト「映画遺産—国立映画アーカイブ映画資料ポータル—」に新たな資料を追加する運びとなりました。

本ウェブサイトでは第 1 弾として映画機材（撮影機・映写機）、第 2 弾として映画館プログラム、第 3 弾として映画館チラシを公開してきましたが、今回は第 1 弾の際にデータを搭載できなかった映画機材（撮影機・映写機）を追加公開いたします。

★映画機材の種類がさらに豊富に

国立映画アーカイブの日本最大規模を誇る映画機材コレクションの多くは相模原分館に収蔵されており、その一部は本サイトに公開してきましたが、今回は 1910 年代の手回し式木製撮影機（ウィリアムソン式和製撮影機）や 1930 年代の日本製玩具映写機（キング家庭映写機 5 号機）、GHQ 占領期に教育映画の上映に用いられた 16mm フィルム映写機（ナトコ映写機）、1970 年代の IMAX 社製 70mm フィルム映写機（オムニマックス映写機）などの多種多様な映画機材コレクションを追加で公開いたします。

★常設展に展示している映画機材の背面や内部機構も明らかに

当館の常設展「NFAJ コレクションでみる 日本映画の歴史」では歴史的に重要な映画機材を展示していますが、本サイトにはそれらを様々な角度から撮影した高精細な画像を掲載することで、機材の背面や内部機構まで細かく観察することが可能になります。また、映画技術史専門家の調査に基づく詳細なテクニカルデータも合わせて公開することで、歴史的に重要な映画機材コレクションをインターネット上でご覧いただけるようになります。

本サイトで国立映画アーカイブが所蔵する資料をご覧になり、映画の歴史について深く学ぶことができるように、今後も改良を加えながらこのサイトを育ててゆきます。ぜひとも本サイトの紹介をご検討いただきますよう、お願い申し上げます。

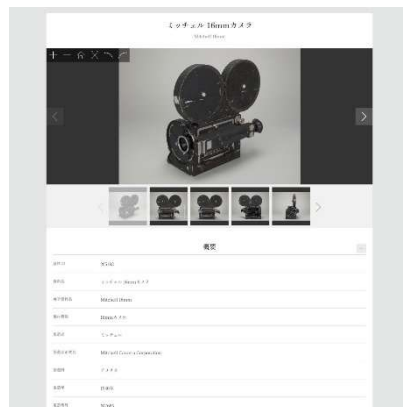
サイト名	映画遺産—国立映画アーカイブ映画資料ポータル—
URL	https://nfajilmheritage.jp/
制作	国立映画アーカイブ、国立情報学研究所
協力	国立アートリサーチセンター
公開日	2025 年 12 月 23 日（火）16 時

公開資料の映画機材について

撮影機・映写機

今回は当館が所蔵する多種多様な映画機材の中から歴史的な撮影機と映写機 44 点を公開いたします。あらゆる物や人の動きを静止画に還元する撮影機、そうした膨大な数の静止画を再び動く画として映し出す映写機——20 世紀テクノロジーの一つの到達点とも言えるこれら歴史的マシーナリーの数々をぜひご覧ください。

閲覧方法と公開資料の一部



左：資料検索のページ。**通常検索**と**連想検索**の二つ方法があります。後者は、入力した単語や文章以外の関連した資料も検索結果に出すことができます。

右：資料詳細のページ。**様々な角度から撮影した高精細な画像**に加え、**映画技術史専門家の調査に基づく詳細なテクニカルデータ**が掲載されています。



ウィリアムソン式和製撮影機

英国ウィリアムソン社の撮影機を 1910 年代に日本国内で模造したもの。クラークを手回しで撮影するため、忍術映画のトリック演出に重宝された。



アスカニア カメラ

1920 年代のドイツで発売されたズームレンズが特徴の撮影機。原節子主演の日独合作映画『新しき土』(1937 年、伊丹万作／アーノルド・ファンク監督)の撮影に同型機が用いられた。



キング家庭映写機 5 号機

日本の愛和商会在 1930 年代に生産した玩具映写機。ビデオ発明以前にも、劇場公開フィルムの短縮版を個人で映写し、観ることが可能だった。



ミッチェル NC 型撮影機

1930 年代アメリカ製のニュースリール・カメラ（NC）。ニュース映画だけでなく、劇映画の製作においても多用された最もスタンダードな撮影機である。



ナトコ映写機

GHQ による日本の民主化政策として、民間情報教育局の教育映画を上映するために用いられた 16mm フィルム用の映写機。



オムニマックス映写機

カナダの IMAX 社が 1970 年代に開発した 70mm フィルム用の映写機。魚眼レンズによってドーム状のスクリーンに映写することができる。